

令和3年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会次第

日時 令和3年8月11日（水）

午前10時から午前11時30分まで

場所 碧南市役所2階 談話室2・3

1 あいさつ

2 議題

(1) 令和2年度事業報告及び収支決算について

(2) 令和3年度事業計画及び収支予算について

(3) その他

碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会委員

	区分	選出団体名等	氏名	役職名
1	市職員	碧南市副市長	金沢 宏治	委員長
2	学識経験を有する者 (市長が必要と認める者)	東海税理士会刈谷支部副支部長	伴野 義雄	
3		日本福祉大学教授	青木 聖久	
4	各種団体を代表する者 (市民の代表)	碧南市民生委員児童委員協議会代表	鳥居 隆幸	
5		NPO法人ゆるりん理事長	磯貝 厚子	
6	一般公募 (市民の代表)		坂部 泰	
7	市職員	碧南市経営企画課長	杉浦 英樹	

任期：令和2年7月1日から令和5年6月30日まで

事務局等

1	事務局	福祉こども部長	杉浦 秀司
2		福祉課長	杉浦 浩二
3		福祉課社会福祉係長	河原 睦
4		福祉課社会福祉係主事	澤田 直也
5	碧南ふれあい作業所	碧南ふれあい作業所所長	小澤 祐佳里
6		社会福祉法人WHJ 法人本部長	竹内 涼
7		社会福祉法人WHJ 法人本部経理部長	熊本 直孝

令和 2 年度 碧南ふれあい作業所 事業報告書

1. 施設概要

施設種別	生活介護事業（通所）	
事業所番号	2 3 1 3 2 0 0 0 2 0	
所在地	碧南市中山町 1 丁目 1 6 番地 1	
事業開始日	平成 8 年 7 月 1 日	
障がい種別	特定なし	
定員	6 0 名	
開所日/時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00

2. 登録市町村

碧南市

3. 契約者の状況(令和 3 年 3 月 3 1 日現在)

総契約者数	6 6 名	碧南市 = 6 6 名
-------	-------	-------------

契約者の推移

常用 利用者	平成 22 年 4 月 1 日時点 の契約者	平成 27 年 4 月 1 日時点 の契約者	平成 31 年 4 月 1 日時点 の契約者	令和 2 年 3 月 31 日 の契約者	令和 3 年 3 月 31 日 現在
		6 2 名	6 8 名	6 7 名	6 7 名

新規契約者時期

令和 2 年度 3 月 = 1 名

退所者時期

令和 2 年度 1 2 月 = 1 名 1 月 = 1 名

4. 職員数（令和 3 年 3 月現在）

正職 = 1 0 名、非常勤 = 1 6 名 合計 2 6 名

5. 月間利用実績 生活介護（定員 60 名） 職員体制（5：1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	R1年度
開所日数(日)	22	19	22	22	18	20	22	20	20	23	20	19	247	248
利用者数(人)	1343	1131	1357	1327	1073	1214	1339	1213	1219	1380	1194	1136	14926	14864
1日平均(人)	61.0	59.5	61.7	60.3	59.6	60.7	60.9	60.7	61.0	60	59.7	59.8	60.4	59.9
利用率(%)	101.7	99.2	102.8	100.5	99.4	101.2	101.4	101.1	101.6	100.0	99.5	99.6	100.7	99.9
前年比(%)	97.8	97.3	99.8	97.6	106.2	102.6	103.5	102.1	103.7	101.0	101.5	98.6	100.9	

月間利用実績 日中一時支援 成人プログラム（定員 70 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	R1年度
開所日数(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
利用者数(人)	7	5	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6	71	588
利用率(%)	10.0	7.1	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	7.1	8.6	8.6	8.6	8.5	70.0

月間利用実績 日中一時支援 児童プログラム（定員 10 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	R1年度
開所日数(日)	1	0	7	8	7	8	7	8	5	7	8	9	75	102
利用者数(人)	1	0	11	12	7	11	8	9	6	12	12	11	100	147
利用率(%)	10.0	0	15.7	15.0	10.0	13.8	11.4	11.3	12.0	17.1	15.0	12.2	13.3	14.4

活動内容

【自主製品部門】

（紙すき）

コロナの影響で注文が少ないこともあったが、現在はたくさんの注文を頂いている。製品の出来がよくない時はパルプや水の量を調節した。

（名 刺）

コロナの影響で注文が少ないこともあったが、3月下旬から注文が増えてきている。年賀状の注文もたくさん頂き、忙しかった。振り込み支払いのお客様の代金の未収がないように確認が必要。

（その他）

- ・ Aさん：7月に腹膜透析の手術を受けられ、腹膜透析開始。9月後半から来所しているが、体調があまりよくなく月に数日しか来所できていない。
- ・ Bさん：新型コロナウイルス感染症予防のため4月と5月は欠席された。（70歳を超えていることもあり家族が心配したため）
- ・ Cさん：10月上旬左足にひびが入っているのが発覚した。入院はせずに作業所で横になってすごしていた。ひびが入った原因は不明。

- ・Dさん：12月29日で作業所を退所され、愛厚希全の里に入所された。
- ・Eさん：視力が徐々に低下してきている。左目はほとんど見えていないとのこと。独居のため家族は老人施設への入所を希望しているが介護認定を受けたところ要支援2だった。

【下請け部門】

(軍手)

新型コロナウイルスの影響もあり1年を通して量が少なかった。

(ゴムキャップ取り付け)

新型コロナウイルスの影響で量が安定していない。1週間ほとんど入荷がないこともある。利用者の方は作業に慣れてきたためとても早くキャップをはめられるようになってきた。

(コーティングはがし)

昨年度は数回しか作業がなかった。

(その他)

- ・Fさん：8月頃から朝遠くまで歩いていき、タクシーで作業所に来所するようになった。電車にも乗るようになり県外からタクシーで来所する日もあった。3月にタクシー代が払えないことが2回あり、家族に話したところその後は作業所の送迎で来所できるようになった。
- ・Gさん：11月に2回、誤嚥性肺炎で入院された。退院後、言語聴覚士によるリハビリを開始し、作業所での昼食時は職員が隣について掻き込まない様に声かけをしている。歯磨き後に口腔内をシートで吹き上げるようにもしている。3月にも誤嚥性肺炎と思われる急性肺炎で入院された。
- ・Hさん：1月22日で作業所を退所され、ピカリコに入所された。

【ぼかし部門】

夏は作業場がかなり暑くなるため水分補給に注意して作業を行っている。扇風機を1台購入し、3台使って作業していた。11月から急遽、担当する職員が変わったためやり方を変更した部分もあるが作業は問題なくできている。新型コロナウイルスの影響もあり、ボカシを納品してもたくさん残っている。

【農園部門】

(各公園の花の植え替え)

順調に行えている。1か所植え替え場所が減った。

(花の販売)

新型コロナウイルスの影響でイベントがなくなり、売り上げが減少している。ボランティア団体による花の購入量も減っている。

(花の育成状況)

環境や気候により種まきの時期を調整したが問題なく育っている。

(その他)

農園のカーテンが破れてしまっているため修繕できるように見積もりを取り、市に提出する予定（3月）

- ・Iさん：7月に耕運機を運ぶ際、バスのリフトに躓いて転倒。顔をリフトにぶつけてしまい、歯が折れて入れ歯も外れてしまった。
- ・Jさん：8月に農園内の円柱ブロックに乗り滑って転倒。額を3センチ切ってしまった。その後、2度発作があったため救急搬送した。その後の対策として円柱ブロックの移動、角・突起物をスポンジで保護、ホースは躓かないように巻き取るか隅に寄せる等を行っている。
- ・Kさん：面談後から毎週水曜日はステップ班ですごすことになった。
- ・Lさん：3月16日作業所へ行く途中、自転車で行方不明になった。翌日朝7時すぎに安城のコンビニで傷だらけの状態で見送された。通院治療をし、23日から来所できるようになった。今後自転車は乗らないように家族が処分をした。

【療育部門】

買い出しや散歩に出かけたり、工作やお菓子作りをしてすごしていた。

- ・Mさん：夏に足のむくみが気になり病院を受診した。レントゲン・血液検査・心電図の検査をしたが異常はなかった。3月、数年前から服薬しているが貧血がよくなり、血液検査を行ったところ鉄欠乏性貧血と診断された。月・木に造血剤を注射することになった。

【厨房部門】

衛生面を強化し全員手袋・消毒を徹底している。夏が例年より暑かったため水分補給の回数を増やして対応した。10月から厨房専属の職員が1人増えた。

【屋内外活動】

(リズム体操)

ボランティアの方に来て頂き、希望者に音楽などを通して体を動かしてもらい体力作りを行っているが、新型コロナウイルスの影響でほとんど実施できなかった。

(車いす体操)

ボランティアの方に来て頂き、車いすの方を中心に体を動かしたり、マッサージをしてリハビリを行っているが、新型コロナウイルスの影響で実施できないことが多かった。

(創作活動)

季節にちなんだ行事を行うようにしている。バレンタインデー、ホワイトデーには、お菓子作りをして楽しんでいる。ハロウィンパーティーを1日行い、利用者の方にも仮装をしてもらった。新型コロナウイルスの影響で各班に分かれて行った。

(カウンセリング)

毎週木曜日に行っている。利用者の方の悩みや相談などを聞き、精神的な安定を図っている。先生と話せる事を楽しみにされている利用者が多くいた。

(マッサージ)

毎週火・木にマッサージの先生に来ていただき、希望者のみマッサージを行ってもらう。新型コロナウイルスの影響で中断することが何度かあった。

(音楽療法)

月に一回行っていて利用者の方も楽しみにしているが、新型コロナウイルスの影響で1度も行えなかった。

(高齢者プログラム)

高齢の利用者の方を中心に体操やマッサージを毎月一回行っている。プログラムに参加する利用者が定着してきているため、今後は本人の現状の身体機能を数値化して比較できるようにしていく。新型コロナウイルスの影響で開催できないこともあった。

(理学療法)

必要に応じて契約している利用者の支援方法のアドバイスをもらっている。誤嚥性肺炎を繰り返している方への食事時の様子などを確認してもらった。

【生活面】

(スタッフ会議)

月1回、今後のイベントや作業所の事について、利用者からの意見などを聞いたり話し合ったりする場を設けている。新型コロナウイルスの影響で各班に分かれての会議となっている。

6. その他碧南ふれあい作業所における活動

【地区全体行事】 新通所者歓迎式、合同避難訓練

【事業所行事】 4月 創作活動（フレンチトースト）
5月 創作活動（マスク作り）
6月 創作活動（あんみつ作り）
7月 元気ッス！へきなん（リモート）&お楽しみ会
8月 バーベキュー大会、創作活動（作品展ちぎり絵）
9月 創作活動（あんまき作り）

- 10月 創作活動（ハロウィンパーティー）
- 11月 創作活動（ポンポン作り）
- 12月 クリスマス会&忘年会、餅つき大会、大掃除
- 1月 創作活動（ぜんざい作り）
- 2月 創作活動（バレンタインデーのお菓子作り&映画鑑賞）
- 3月 創作活動（ホワイトデーのお菓子を作ろう&メイクネイル仮装体験）

【健康面】 健康診断、歯科検診、人間ドック、インフルエンザ予防接種

【外部交流】 安城特別支援学校実習生受け入れ、高浜高校実習の受け入れ、日本福祉大学実習受け入れ

【日中一時支援 成人】

毎月第3土曜日に行い、碧南市在住の施設内外の方に利用して頂いている。スタッフが楽しめること、色々な体験ができるように企画を進めている。企画内容もスタッフの意見等を取り入れるようにしている。新型コロナウイルスの影響のためR2年度はその週にホームに宿泊する利用者の方のみの参加で行った。

- 企画内容
- ・ 4月手作りの花見
 - ・ 5月パエリア作り
 - ・ 6月テルテル坊主作り
 - ・ 7月サンドイッチ&ハンバーグ作り
 - ・ 8月カレーライス作り
 - ・ 9月段ボール迷路作り
 - ・ 10月パンプキンケーキ作り
 - ・ 11月餃子パーティー
 - ・ 12月グラタン作り
 - ・ 1月かるた作り
 - ・ 2月デザート作り
 - ・ 3月おしゃれランチ

【日中一時支援 児童】

公園へ遊びに行ったり、作業所ですごしたりしている。卒業後を見据えて利用している方もいる。来年度からは放課後支援の受け入れを中止することになり、長期休みのみの受け入れになる。

7. 令和2年度の特徴

- ・ 昨年度に引き続き、1日3回の館内消毒と送迎車の消毒を継続している。
- ・ 4月中旬から新型コロナウイルスに配慮し、昼食を3班に分かれて摂るようにした。
- ・ 緊急事態宣言が出てから外部から講師を招いての体操や音楽療法はほとんどできていない。マッサージも宣言中は中断していたが、現在は再開している。

- ・12月にガイア利用者のご家族が新型コロナウイルスに感染された。作業所の送迎バスを利用されていたため2日間作業所を閉めた。その間は換気・掃除・消毒を行った。
- ・元気ッス！、社会見学、ふれあい祭り、きらきらウォークが全部開催できなかったが、7月にお楽しみ会、10月にハロウィンパーティーを行い楽しんでもらうことができた。
- ・利用者とその家族の高齢化が著しく進んでおり、いままで以上に体調に配慮を必要とする方が増えた。

8. 事業計画に対する評価

①指定管理

碧南市へ事業計画・事業報告を行い、指定管理者審査委員会の資料作成や委員会での説明を行った。

新型コロナウイルスの影響で利用を中止したりする利用者や事業所全体を休所する際など随時福祉課と協議を重ねて判断をした。

②研修・勉強会

新型コロナウイルス蔓延の状況下で対面式の研修への参加が難しかったが、リモートでの研修を中心に参加できる研修には積極的に参加した。法人としても動画等を活用して情報発信を行ってきた。

③修繕・入替

大規模な修繕は見られなかったが、送迎用のバスの老朽化に伴い碧南市と協議を重ねた。碧南市としても入れ替えの必要性に理解を示し、次年度の予算計上に向けて取り組んでくれた。

④非常食・防災用品

非常食の在庫の確認を行ったところ、消費期限が間近なものが多かった。新しいものを購入次第、入れ替える予定。新型コロナウイルスの影響で一時マスクが手に入らないことがあったが、少しずつ蓄えている。

⑤高齢プログラム

担当職員を中心にプログラムに参加される方の様々な項目を測定し、数値化している。利用者の方もプログラムを楽しみにして積極的に参加できるようになってきた。

9. 今後の課題

①指定管理

新型コロナウイルスの影響もあり今後も休業や休まれる方が出る可能性があるため市と連携し、情報収集が出来るようにしていく。

②研修・勉強会

新型コロナウイルスの影響でほとんどの会議や研修がリモートとなっているが、遠方で開催されるものにも参加しやすくなったため積極的に参加するように働きかけていく。可能であれば複数の職員に研修に参加してもらい、スキルアップを目指していきたい。

③修繕・入替

修繕や設備工事の必要な個所がまだまだあるため順序立てて行っていく。大規模修繕が必要な個所に関しては碧南市と協議しながら優先順位を立てていく。

④非常食・防災用品

非常食の消費期限、物品の確認など1年に1度は必ず確認するようにする。消費期限の近いものもあるため非常食は新しいものを購入する。毎年少しずつ入れ替えるようにする。

マスクや手袋、消毒などは新しいものを購入したら入れ替えるようにしていく。

⑤高齢プログラム

プログラムとして定着していきいているが今後、参加者が増えることが予想されるためたくさんの方が取り組める内容にしていく。場合によってはグループ分けをおこない、定期的に数値を測定し、統計をとるようにしていきたい。

色々な職員に参加してもらい担当職員以外にも周知できるようにするためにマニュアル化も検討していく。

10. 職員研修

サービスの質の向上と現状の福祉情勢を学ぶ目的で愛知県や知的障害者福祉協会が主催する研修に積極的に参加している。また、研修に参加する事でモチベーションアップに繋がっている。リモート研修で様々な研修に参加する事が可能になってきたため、今まで以上に現場職員に参加してもらおうようにしていく。

令和2年度 参加職員研修一覧

実施月	内容	開催場所	参加職員
6～8月	介護福祉士実務者研修	ふれあい作業所	生活支援員
7月	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	ZOOM 研修	管理者
7月	管理者研修会	ZOOM 研修	管理者
9月	初任者研修	ZOOM 研修	生活支援員（経験2年目）
10月	ZOOM レクチャー研修	ZOOM 研修	管理者
12月	高齢知的障害者への支援に関する研修会	ZOOM 研修	看護師
3月	日中活動支援部会研修	ZOOM 研修	生活支援員

11. 資格取得

職員の資質向上と利用者の満足度を高めるため、法人として積極的に資格取得を推進している。

令和2年度 資格取得一覧

取得資格	人数
介護福祉士実務者研修	2名
介護福祉士	3名
中型限定解除（マイクロバス）	1名

令和2年度 碧南ふれあい作業所 決算について

収入の部

科目	令和2年度予算額(補正後)	収入済額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	116,080,000	113,329,524	2,750,476	
(自立支援給付費)	107,650,000	107,003,724	646,276	
(利用者給食費等)	3,830,000	3,758,350	71,650	1食あたり250円
(その他の事業)	4,600,000	2,567,450	2,032,550	指定管理料(¥913,650)、日中一時支援等
職員給食費、研修受入費等	1,525,000	1,426,140	98,860	1食あたり300円
その他の事業	6,500,000	5,758,467	741,533	生産活動売上
受取利息配当金	5,000	12,560	-7,560	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	0	0	0	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	124,110,000	120,526,691	3,583,309	

支出の部

科目	令和2年度予算額(補正後)	支出済額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	85,650,000	80,195,576	5,454,424	
(常勤職員給与)	48,000,000	44,737,023	3,262,977	
(非常勤職員給与)	25,000,000	24,161,383	838,617	
(法定福利費)	11,000,000	9,876,372	1,123,628	社会保険料負担分
(退職共済掛金)	1,650,000	1,420,798	229,202	
事務費支出	10,455,000	9,621,217	833,783	
(福利厚生費)	300,000	239,269	60,731	
(事務消耗品費)	860,000	855,012	4,988	
(修繕費)	480,000	339,040	140,960	車輛修繕等
(業務委託費)	3,600,000	3,461,900	138,100	アルゴ委託費等
(保険料)	1,150,000	1,048,797	101,203	
(賃借料)	800,000	777,129	22,871	ワゴン車、食洗機等リース代等
(租税公課)	160,000	136,700	23,300	消費税
(保守料)	1,400,000	1,345,846	54,154	エレベーター、消防・電気点検等
(雑支出・その他)	1,705,000	1,417,524	287,476	旅費、冠婚葬祭、非常食代等
事業費支出	22,005,000	20,128,304	1,876,696	
(給食費)	5,204,000	5,189,477	14,523	給食材料費
(本人支給金)	6,000,000	5,676,365	323,635	利用者工賃
(水道光熱費)	3,850,000	3,610,671	239,329	電気・ガス・水道代
(消耗器具備品費)	693,000	692,944	56	
(教育指導費)	1,600,000	1,176,433	423,567	花苗・自主製品材料代等
(車輛費)	2,550,000	2,035,016	514,984	
(教養娯楽費)	350,000	305,863	44,137	行事準備代、新聞代等
(雑支出・その他)	1,758,000	1,441,535	316,465	利用者検診代、日用品代等
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	120,000	119,680	320	
(構築物取得)	0	0	0	
(機械及び装置取得)	0	0	0	
(車輛運搬具取得)	0	0	0	
(器具及び備品取得)	120,000	119,680	320	
(建設仮勘定への計上による資金減少額)	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	5,000,000	5,000,000	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	本部繰入金
雑損失	0	0	0	
予備費	880,000	0	880,000	
支出合計	124,110,000	115,064,777	9,045,223	
収支差額	0	5,461,914	-5,461,914	繰越金

前期末支払資金残高	0	58,605,484	-58,605,484	
当期末支払資金残高	0	64,067,398	-64,067,398	前期残高+当期繰越金

令和3年度 碧南ふれあい作業所 事業計画

(1) 碧南ふれあい作業所 (生活介護・日中一時支援)

開所日 平成8年7月1日 (指定管理 平成22年4月1日)

建設地 碧南市中山町1-16-1

敷地 碧南市所有 1,694.7 m²

建物 1,244 m² 鉄筋コンクリート造3階建

定員 生活介護60名 (契約者数66名) / 日中一時支援70名

指定番号 2313200020

職員体制

管理者	サービス管理責任者	嘱託医	支援員	栄養士	看護職員	調理員	合計
1名(兼務)	2名(1名兼務)	1名	18名	1名	4名	1名	27名

(2) 施設の理念・目標

「ここが自分の【居場所】だと思える所へ」

- ・生活介護 一人ひとりが充実した生活が送れるように支援していく
- ・日中一時支援 余暇の充実を図り、リフレッシュできるように様々なプログラムを提供する

(3) 昨年度計画の課題

・生活介護

個別支援計画の目標達成率を高める事を掲げていたが、目標の中で外出活動に関する事や散歩・運動に関する事などコロナ禍の中でなかなか達成する事が難しい目標も多かった。新型コロナがいつ収束するか見通しが持てない中、このような時だからこそ個別支援計画に重点をおき、目標の見直しや日々の支援の中でのアプローチが必要である。

高齢化に伴うプログラムについては定期的なプログラムは行えているが、毎日の作業活動が限界に近い利用者も出てきているため、療育班の活動に高齢利用者も組み込み所属班とは違う居場所作りを行った。今後は療育班の活動内容の検討を行っていく。

- ・日中一時支援

プログラム内容が過去に行ったものが多く、マンネリ化してきている。利用者に様々な経験・体験をして頂き余暇を充実したものにするため新しいプログラム内容が必要である。

(4) 令和3年度の計画

- ・生活介護（定員60名）

本人も職員も個別支援計画を意識できるようにするため各班にその班の利用者の目標一覧を置くようにする。非常勤職員も含め目標を理解し、日々取り組めるように声かけをしていく。目標達成に対しての支援が行えたかを分かりやすくするため、毎日の記録の欄にどれくらい支援が行えたか分かるように様式を変更する予定。

音楽療法・リズム体操・車椅子体操・高齢プログラムについては外部の先生を主として行っていたため今年度は新型コロナウイルスの影響により行えないことが多かった。今後も影響はあると思われるため内部で工夫しながら行うことを検討していく。

今後、春と秋に作業所全体での草取り・木の伐採など環境整備を行うようにする。

介助を受ける側の思いを感じる事を目的とした研修（機械浴を使用した入浴介助や車いすでの昇降リフト等）を他事業所と合同で開催していく。

- ・日中一時支援事業（70名）

昨年度はコロナ禍でホームの方以外の参加をお断りしていたが、今年度は作業所の方に限定して行う予定。外部の方が参加しないため今までよりは少ない人数になると思われるため、作業所内外で楽しめる内容を提供していく。特に外出した場合、マスクの着用・消毒を徹底する。平日は服薬や体調管理を看護師に任せている部分が多いため、その点にも十分注意を払うようにしていく。

- ・健康管理

- 毎朝来所時の検温と手指消毒、毎日3回の館内消毒

- 嘱託医師による診察（内科検診）及び体重測定を毎月実施

- 定期健康診断を年1回実施、その結果及び嘱託医師の意見に基づき要精密検査者の保護者に受診の支援
- 昼食後の歯磨き支援
- 支援が必要な方へ看護師によるバイタルチェック、服薬・点眼の実施

(5) 長期計画

・生活介護

- 高齢化が進んでいるため、療育班の拡充が必要になってくる。今まで作業中心で過ごしてきた方達がゆったりと過ごせるように療育班のプログラム内容や職員数の増加を検討していく。また、中庭で家庭菜園ができるように土地を整備し班での作業がない時などに行えるようにする。いずれはみんなで育てた野菜を給食として食べられるようにしていきたい。
- 利用者の高齢化が進んできているため、介護保険サービスも併用できるように老人福祉施設との連携も取れるようにしていく。必要に応じて介護認定が受けられる状況も整えていく。

・日中一時支援

50～60名の方が同じ内容で楽しむのは難しいため参加される利用者の年齢や体力に合わせて内容を変えていく。可能であれば2コース作って選択できるようにする。また、アンケートなどでどのようなことをやりたいか希望をとれるようにしていきたい。

(6) 年間スケジュール（新型コロナウイルスの状況を鑑みて開催を決定します）

時 期	内 容	場 所
4月	新通所者歓迎式&お花見	あいくる
7月	流しそうめん大会	ふれあい作業所
7月	ふれあいキャンペーン	ふれあい作業所
7月	元気ッス！へきなん	碧南市役所前
8月	バーベキュー大会	ふれあい作業所
9月	合同地震津波避難訓練	ふれあい作業所

10月	社会見学	未定
10月	男性・女性宿泊会	ふれあい福祉園ガイア
10月	ハロウィンパーティ	ふれあい作業所
11月	ふれあいまつり	ふれあい作業所
12月	もちつき大会	ふれあい作業所
12月	クリスマス&忘年会	ふれあい作業所
12月	きらきらウォーク	碧南市役所付近
1月	新成人を祝う会	あいくる
2月	創作活動(バレンタインチョコ作り)	ふれあい作業所
3月	創作活動(ホワイトデーお菓子作り)	ふれあい作業所

(7) 職員研修計画

実施予定月	内 容	開催場所	参加職員
4月	法人内新人研修	ダイヤビル	新規採用職員
6月	強度行動障害基礎研修	メディアちた	生活支援員
6月～8月	介護福祉士実務者研修	碧南ふれあい作業所	生活支援員
9月	医療的ケア教員講習会	名古屋企業福祉会館	看護師
10月	全国知的障害福祉関係 職員研究大会	ZOOM 研修	生活支援員
11月	全国日中活動支援部会 研修会	ZOOM 研修	管理者 生活支援員
12月	法人全体研修	衣浦グランドホテル	全職員
1月	法人内研修	法人内各施設	対象職員

※上記以外でも研修案内等を確認して積極的に参加するように取り組む。

令和3年度 碧南ふれあい作業所 予算について

収入の部

科目	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	112,645,000	117,605,000	-4,960,000	
（自立支援給付費）	105,005,000	107,650,000	-2,645,000	
（利用者給食費）	3,700,000	3,830,000	-130,000	1食あたり250円
（職員給食費等）	1,440,000	1,525,000	-85,000	1食あたり300円
（その他の事業）	2,500,000	4,600,000	-2,100,000	指定管理料(¥1,000,000)、日中一時支援等
その他の事業	5,500,000	6,500,000	-1,000,000	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	5,000	5,000	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	0	0	0	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	118,155,000	124,110,000	-5,955,000	

支出の部

科目	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	82,000,000	90,650,000	-8,650,000	
（常勤職員給与）	46,000,000	51,000,000	-5,000,000	
（非常勤職員給与）	25,000,000	27,000,000	-2,000,000	
（法定福利費）	9,000,000	11,000,000	-2,000,000	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	2,000,000	1,650,000	350,000	
事務費支出	10,405,000	10,455,000	-50,000	
（福利厚生費）	250,000	400,000	-150,000	
（事務消耗品費）	1,000,000	800,000	200,000	
（修繕費）	750,000	750,000	0	0 車輛修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,600,000	0	0 アルゴ委託費等
（保険料）	1,100,000	1,150,000	-50,000	
（賃借料）	800,000	800,000	0	
（租税公課）	150,000	160,000	-10,000	消費税
（保守料）	1,400,000	1,400,000	0	
（雑支出・その他）	1,355,000	1,395,000	-40,000	
事業費支出	21,305,000	22,005,000	-700,000	
（給食費）	5,400,000	5,500,000	-100,000	給食材料費
（本人支給金）	6,000,000	6,200,000	-200,000	利用者工賃
（水道光熱費）	3,700,000	4,200,000	-500,000	電気・ガス・水道代
（消耗器具备品費）	800,000	300,000	500,000	
（教育指導費）	1,200,000	1,600,000	-400,000	
（車輛費）	2,500,000	2,550,000	-50,000	
（教養娯楽費）	350,000	250,000	100,000	
（雑支出・その他）	1,355,000	1,405,000	-50,000	
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	320,000	0	320,000	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	320,000	0	320,000	
（車輛運搬具取得）	0	0	0	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	3,000,000	0	3,000,000	本部繰入金
予備費による支出				
予備費支出	1,125,000	1,000,000	125,000	
支出合計	118,155,000	124,110,000	-5,955,000	
収支差額	0	0	0	

碧南ふれあい作業所 事業所紹介

日中の活動について

ふれあい作業所では療育・身体・精神の手帳を持っている方を対象に様々な作業や行事を行っています。作業は自主製品班・農園班・下請け班・ステップ班の4つに分かれ、それぞれのスケジュールに沿って毎日活動をしています。作業内容は様々で利用者の方1人1人に合ったものを提案できるように心がけています。

ご本人・家族の方とは年度末に面談を行い、次年度の目標を立てています。目標は本人主体の目標を立て、本人のやる気を引き出すような支援をしています。

作業以外にも体操や音楽療法、外出企画なども行っていますが、新型コロナウイルスが流行してからは思うように活動ができなくなっています。制限が多い中でも少しずつ工夫をして皆さんに楽しんでもらえるような企画を考えています。

【自主製品班】 所属人数 24名

活動内容 紙すき製品、名刺印刷、アクリルたわし、編みぐるみ 等

●特徴●

作業所では葉書・色紙・封筒・名刺などの紙すき製品をすべて牛乳パックを再利用して作っています。作業所の紙すきはとても評判がよく、全国から注文を頂いています。紙すきは作業工程も多く、天候などによっても左右されてしまうため大量生産はできませんが、1つ1つ丁寧に作っています。

紙すき以外にもアクリルたわしや編みぐるみなどを作って販売しています。編みぐるみは昨年度から作り始めましたが、とても好評で注文もいただいています。

【下請班】 所属人数 21名

活動内容 自動車部品の加工、手袋の成型・袋詰め 等

●特徴●

下請け班では自動車部品の加工や、手袋の成型作業を行っています。

利用者の方は職員以上に作業に慣れているため量が多くても納品までにきちんと作業をおえることができます。

工場から作業を頂いているため社会情勢に左右されやすく、作業がない日が続くこともあります。そのような時は工作をしたり、作業所内の草取りや掃除などを行いながら過ごしています。また時々、調理実習などを行い作業とのメリハリを付けながら楽しめるようにしています。

【農園班】 所属人数 16名

活動内容 花苗栽培、市内花壇植替え、アルミ缶リサイクル、EMボカシ 等

●特徴●

農園班は、花苗を種から栽培して販売したり、市内の公園や公的機関などの花壇の管理や植え替えなどを行っています。またイベントがある時はそちらでの販売も行っています。花好きな利用者の方が多いためみんなで大事に花を育てています。

農園は屋外での作業が中心のため利用者の方の健康管理には十分配慮しながら活動しています。特に真夏は屋外での作業をできるだけ減らし、水遊びや室内で工作などをして過ごすようにしています。

【ステップ班】 所属人数 5名

活動内容 工作、外出、各班の作業補助 等

●特徴●

ステップ班は、毎日作業に取り組むことが難しい方達が知育遊びや工作や調理実習を行ったり、散歩に出かけたりして過ごしています。療育的な活動が中心ですが、作業を行うこともあり、メリハリのある生活ができるようにしています。今年度からは他の班で日常的な作業を行うのが難しくなってきた方も参加するようになりました。

スタッフ会議について

毎月1回、利用者と職員が集まり作業所のことについて話し合いをしています。行事について話し合うことがほとんどですが、利用者の方の意見や希望を聞くいい機会にもなっています。特に創作活動で何を作りたいか、式典やイベントでの役割を決める時などはみんな積極的に発言をしてくれています。自分達の意見が反映されることによってやりがいやいい施設作りに繋がっていくと考えています。

厨房について

作業所の利用者数名が厨房内の洗い物や調理補助を行っています。同法人の就労系事業所「ふれあい工房アルゴ」からも利用者の方が来られ、盛り付けや配膳、翌日の仕込みを手伝っています。

厨房に入るということで衛生面には十分気を付けており、手洗いや消毒は特に徹底して行っています。